

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド(毎月決算型)」は、2019年6月17日に第29期決算を行いました。

当ファンドは、主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資することで、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第29期末(2019年6月17日)

基準価額	8,521円
純資産総額	330百万円

第24期～第29期

騰落率	0.1%
分配金(税込み)合計	210円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBIスリランカ短期国債ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第5作成期

第24期(決算日2019年1月17日) 第25期(決算日2019年2月18日)

第26期(決算日2019年3月18日) 第27期(決算日2019年4月17日)

第28期(決算日2019年5月17日) 第29期(決算日2019年6月17日)

作成対象期間(2018年12月18日～2019年6月17日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

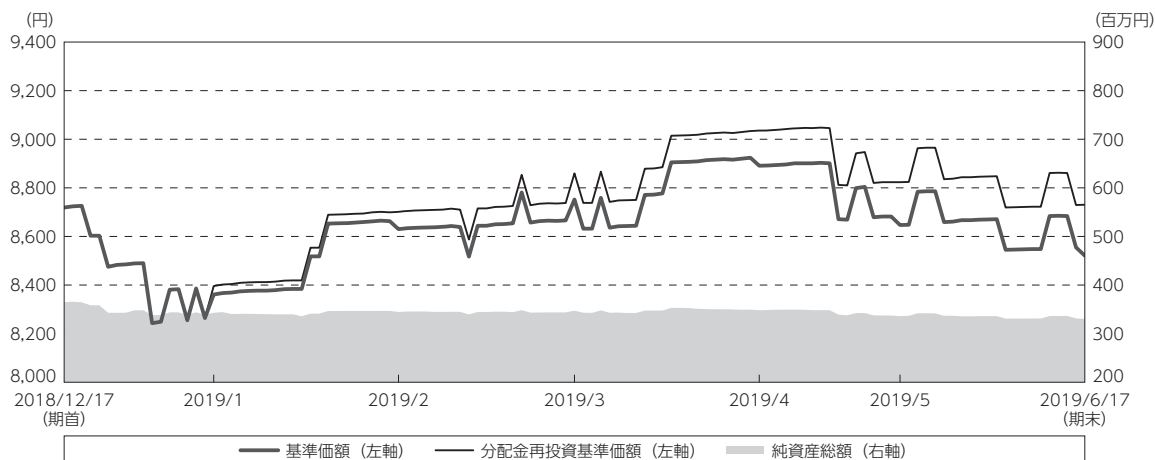
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2018年12月18日～2019年6月17日)



第24期首：8,719円

第29期末：8,521円 (既払分配金(税込み)：210円)

騰落率：0.1% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、2019年初にかけて下落しましたが、2月以降上昇に転じ、小幅な上昇に留まりました。2018年12月は、米国と中国の関係悪化への懸念が高まり、投資家がリスク回避姿勢を強め外国為替市場で急速に円高が進んだこと等から、基準価額が下落しました。年明け以降は、スリランカの国内経済や金利環境を背景とした高利回りに加えて、外国為替市場で円安が進み、4月下旬に期中の高値を付けました。しかし、その後にスリランカ国内で発生した爆発の影響は限定的となったものの、米国や欧州で利下げ観測の高まりとともに再び円高が進んだことや、国内景気の鈍化懸念から、緩やかな下落基調となりました。当ファンドの基準価額は当作成期を通じて+0.13%上昇(分配金再投資ベース)の8,521円で期末を迎えました。

1万口当たりの費用明細

(2018年12月18日～2019年6月17日)

項 目	第24期～第29期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	25 円	0.293 %	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.054)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.226)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	20	0.237	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(5)	(0.063)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(15)	(0.173)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	45	0.530	
作成期中の平均基準価額は、8,622円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

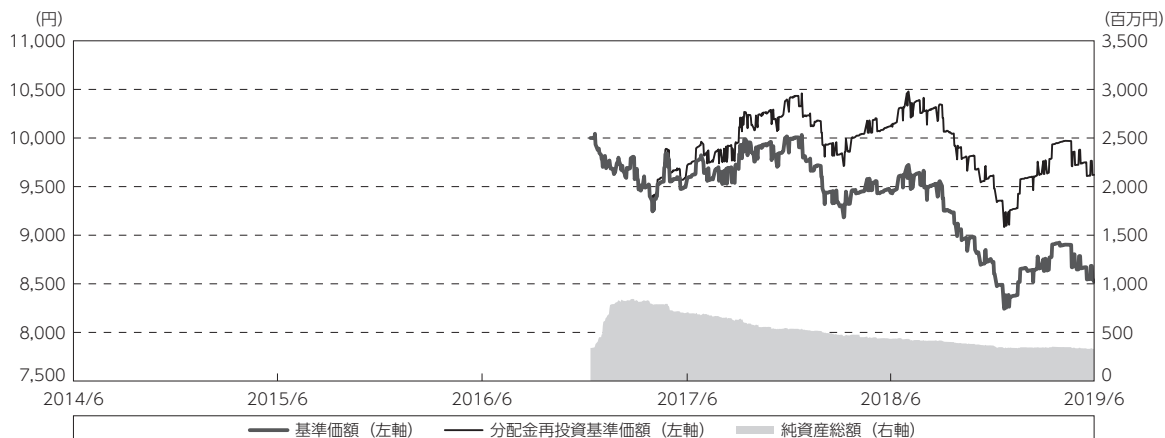
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年6月17日～2019年6月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年12月29日から2019年6月17日)のみの記載となっております。

	2016年12月29日 設定日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,582	9,436	8,521
期間分配金合計(税込み) (円)	-	135	540	460
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 2.8	4.2	△ 4.9
純資産総額 (百万円)	340	705	432	330

- (注1) 当ファンドは主として「SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算日当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年6月19日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2018年12月18日～2019年6月17日)

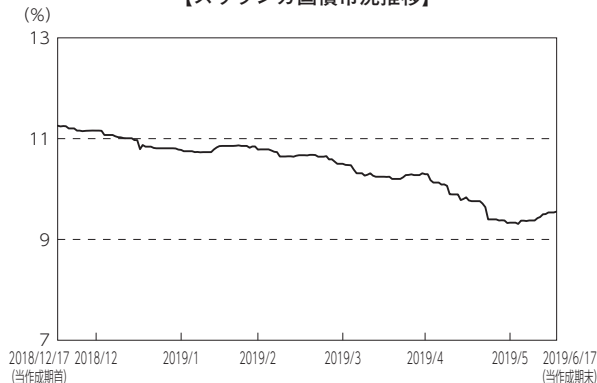
※以下のコメントの内容は、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

当作成期の前半は、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。スリランカ財務大臣と国際通貨基金（IMF）クリスティーヌ・ラガルド専務理事の面談が行われ、スリランカ経済の構造改革とIMFからの継続的な支援が確認されたことが市場で好感されました。

当作成期の後半も、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。スリランカでは、4月のイースター（復活祭）の最中に教会と高級ホテルで爆発が起き、多数の死傷者が発生しました。スリランカ経済は、GDPの約5%を観光収入に依存していることから景気への影響が懸念され、5月30日の金融政策会合では政策金利の0.50%引き下げが実施されました。

【スリランカ国債市況推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

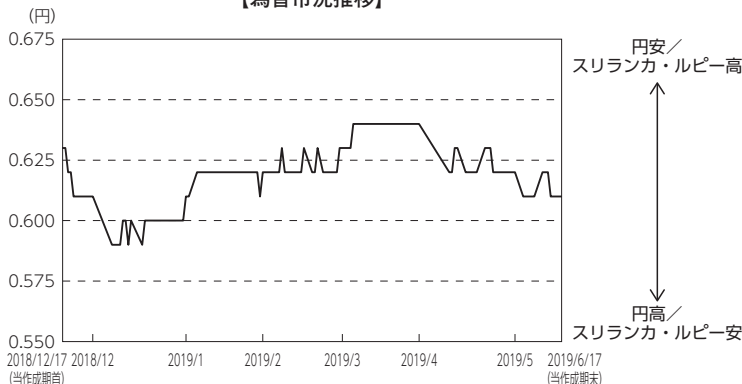
【為替市況】

当作成期の前半は、円安基調となりました。金融市場の変動等の影響を受けて、年初に円が主要通貨に対して急上昇しましたが、その後は緩やかな円安基調となりました。また、米国利上げ懸念の後退を受けて、スリランカ・ルピーなどの新興国通貨が堅調に推移しました。

当作成期の後半は、円高基調となりました。スリランカ・ルピーは対米ドルでレンジ内での動きとなったものの、米金利先安観を受けた円高の影響を受けました。

当作成期を通じてみると、スリランカ・ルピーは円に対して、おおむねレンジ内で推移しました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年12月18日～2019年6月17日)

<当ファンド>

主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)>

スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近5月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

ポートフォリオ構成

平均残存期間(年)	0.2
平均修正デュレーション(年)	0.2
平均クーポン(%)	10.60
平均直接利回り(%)	10.57
平均最終利回り(%)	8.61
平均格付け	B

(注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。

格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

(注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日まで得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。

(注4) クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。

(注5) 平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

資産別構成

債券	81.4%
現金等	18.6%

(注) 現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

※上表については、S B I ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、S B I アセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年12月18日～2019年6月17日)

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2018年12月18日～2019年6月17日)

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日	2019年5月18日～ 2019年6月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.417%	35 0.404%	35 0.398%	35 0.392%	35 0.403%	35 0.409%
当期の収益	35	35	35	35	34	34
当期の収益以外	—	—	—	—	0	0
翌期繰越分配対象額	94	102	109	116	116	116

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようコメントをしています。

スリランカでは、利払い費用等を除く基礎的財政収支（プライマリーバランス）が黒字になるなど財政改革の成果が表れてきております。国内爆破事件の影響から景気は減速する見込みですが、貿易赤字の削減やインフレ上昇率の低下がファンダメンタルズの安定化につながると考えられます。

債券市場においては、中央銀行の金融緩和姿勢や改善に向かうファンダメンタルズを背景に、スリランカ短期国債利回りは安定的に推移することが見込まれます。

為替市場においては、米ドル/円におおむね連動するスリランカ・ルピー/円が、主に米ドルの影響を受けつつも、レンジ内で推移するものと見ています。

こうした環境下、当ファンドのパフォーマンスは短期的には為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されますが、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心にファンドの収益が積み上がっていくことを想定しています。

運用においては、主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。一方、満期を迎える銘柄については、他の短期国債へ再投資する方針です。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

お知らせ

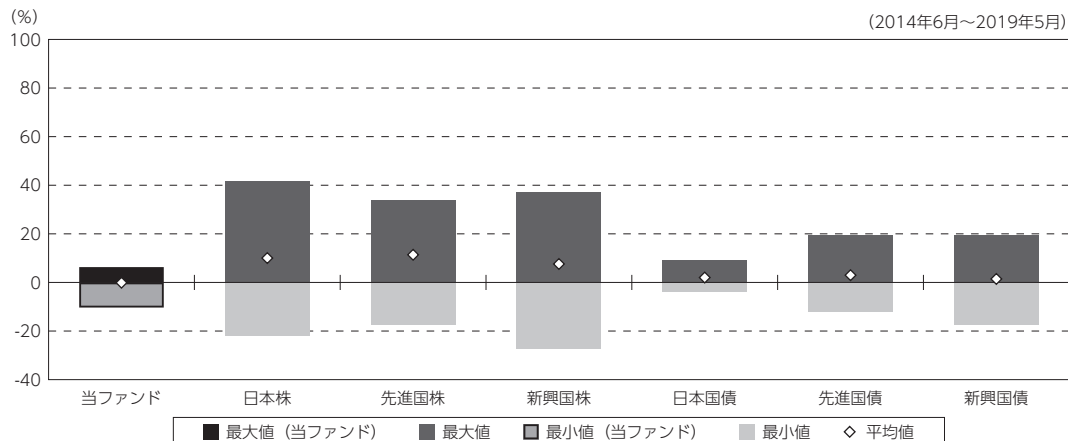
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資するとともに、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざします。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	6.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 10.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 0.1	10.0	11.4	7.6	2.0	3.0	1.4

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2014年6月から2019年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2016年12月29日(設定日)から2019年5月31日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年6月17日現在)

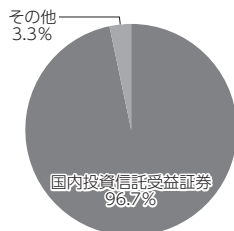
○組入上位ファンド

銘柄名	第29期末
	%
SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	96.4
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.3
組入銘柄数	2銘柄

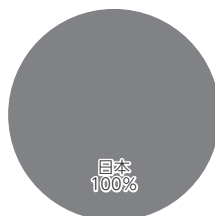
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

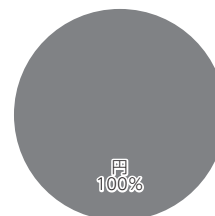
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
	2019年1月17日	2019年2月18日	2019年3月18日	2019年4月17日	2019年5月17日	2019年6月17日
純資産総額	342,996,695円	344,643,153円	347,202,071円	348,102,144円	336,007,439円	330,133,489円
受益権総口数	410,244,467口	399,371,315口	396,715,483口	391,533,709口	388,569,757口	387,422,005口
1万口当たり基準価額	8,361円	8,630円	8,752円	8,891円	8,647円	8,521円

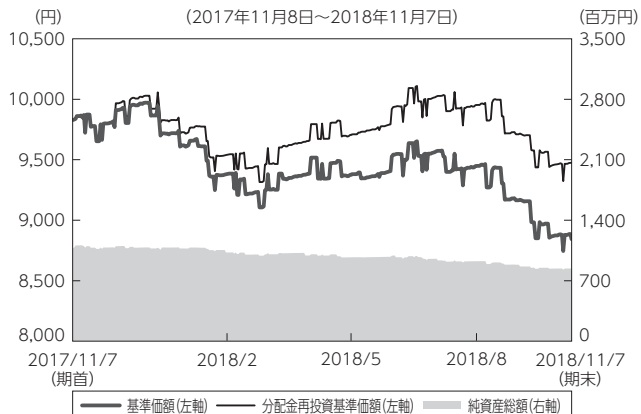
(注) 作成期中における追加設定元本額は20,622,086円、同解約元本額は51,572,323円です。

組入上位ファンドの概要

SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)

以下は当該ファンドを運用するSBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

【基準価額等の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月8日~2018年11月7日)

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年11月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【組入上位10銘柄】

(2018年11月7日現在)

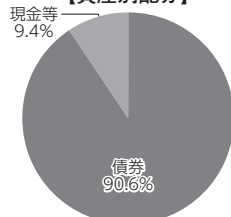
	銘柄名	国(地域)	比率
1	SRILGB 10.6% 2019/7/1	スリランカ	47.5%
2	SRILGB 10.6% 2019/9/15	スリランカ	31.4%
3	SRILGB 10.75 2019/1/15	スリランカ	11.7%
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

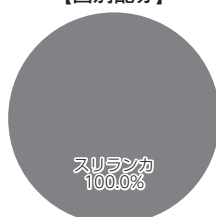
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2018年11月7日現在のものです。

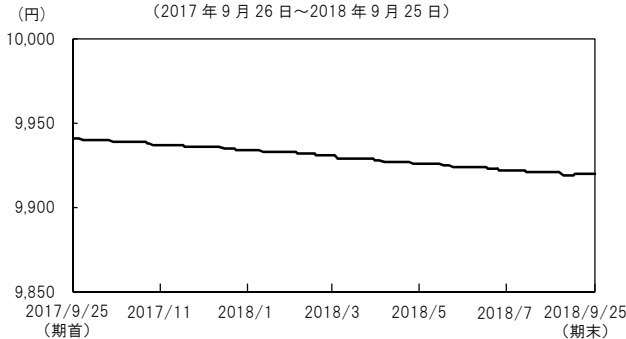
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月26日～2018年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	14	0.140
(投信会社)	(11)	(0.108)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託銀行)	(2)	(0.022)
(b) その他費用	0	0.005
(監査費用)	(0)	(0.002)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	14	0.145

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2018年9月25日現在)

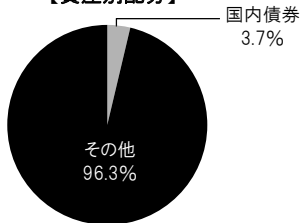
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第316回中国電力株式会社社債	日本	1.2
2 第424回中部電力株式会社社債	日本	1.2
3 第358回中国電力株式会社社債	日本	1.2
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

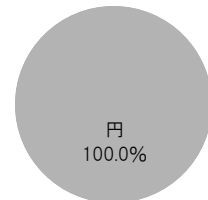
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2018年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。